

会 議 録		令和8年2月24日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和7年度第4回）		
開催日	令和8年2月19日（木曜日）		
時 間	午後2時から午後3時30分までの間（90分）		
場 所	京都府田辺警察署 別館2階剣道場		
出席者	松井会長、垣内副会長、花木委員、藤ノ井委員、今井委員、田中委員、中川委員、 （欠席 北見委員、柳委員） 計7人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、刑事課長、 警備課長、広聴・相談係長 計9人		
諮 問 事 項	効果的な府民協働防犯ステーション活動について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 副署長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議 司会 副会長</p> <p>諮問事項説明</p> <p>効果的な府民協働防犯ステーション活動について～地域課長</p> <p>【委員】当大学には様々な部活動やサークルがあり、2月21日には京田辺市消費生活センターが主催する「消費生活講座」で、当大学の「喜劇研究会」がコントや漫才をすると聞いている。</p> <p>是非、このような学生と警察とが連携した活動等も出来ればと思っている。</p> <p>【委員】私は市役所で防犯・防災を担当しており、防災活動について、市民の皆様に説明を行い、災害の初動対応等を支援してもらった自助組織づくりを行ってきた。</p> <p>その結果、少しずつ自助組織が増えてきているところである。</p> <p>防犯活動でも同様に、根気よく、住民の皆様に協力をお願いしていくことが重要である。</p> <p>その際、「自分の町は自分で守る」というような意識を持ってもらう住民の意識改革が必要となるが、それがなかなか難しいところである。</p> <p>【委員】先ほど地域課長から、「府民協働防犯ステーション活動」について説明してもらったが、これまで私の店舗で田辺警察署に協力を行ってきた広報活動等が、府民協働防犯ステーション活動の一つであるとよく分かった。</p>		

会 議  
内 容

また、田辺警察署の活動事例として御紹介のあった「大住防犯マルシェ」はとても良い活動で、私も家族と行きたいと思うような内容だったが、その活動について、地元でありながら全く気付いていなかった。

せっかく良い活動をされているので、広報にもっと力を入れられれば良いのではないかと思う。

そのような広報に関しては、当店でも御協力出来るところがあると思うので、是非、御相談いただきたい。

【委員】地域課長のお話を聞き、住民として、また、地元企業として何が出来るかとても考えさせられた。

当社は廃棄物の収集を行っており、多くの車両が田辺警察署管内を走行している。

人が生きている限り、外国人の方であろうと誰であろうとゴミは出るものである。例えば車両に不法投棄防止等のステッカー等を掲出等することも可能かもしれないと思う。

問題があるとすれば、予算のほか、行政から委託等受けて行っている活動であり、当社だけの判断で出来るかどうかというところ等が考えられる。

行政を巻き込んでもらえば、出来ることが見えてくるかもしれないと思う。

【委員】京田辺市では、既に公用車が「防犯マグネットシート」を着装して走行している。

行政としては「ながら防犯」に理解があるが、問題は予算措置の点が大きいと思う。

【委員】私は井手町で生まれ育ったが、昔と比べ、随分平和になったと感じている。

井手町の特徴として、新興住宅地がなく、地域のつながりが強いことが挙げられる。

しかしながら、そんな井手町であっても外国人の方は増えており、町の5パーセント程度の人数になっている。

その外国人の多くは技能実習生で、ほとんど20歳から25歳位の若い方達で、期限が来ると帰国していく。

習慣が違うのか、真夜中でも大声を出す方たち等がいて、問題になることがあるが、これらの方は、特定企業の従業員であることがほとんどなので、その特定企業を巻き込み、外国人の方への防犯等の情報発信を行えば良いのではないかと思う。

【委員】宇治田原町でも外国人の方は増えており、その方の子供が小学校にも増えてきているが、その子供たちは日本語がりゅうちょうで、上手く馴染んでいるように感じている。

しかしながら日本人の大人たちは、外国人に対して距離を取っているように感じている。

また、住民の高齢化に伴い空き家も増えており、新興住宅地以外は隣家がとても遠くなっており、犯罪者にとって犯罪がやりやすくなっているのではないかと危惧している。

会 議  
内 容

また、他の委員も話されていたが、「防犯マルシェ」は普段防犯に興味を持っていない高齢者たちも参加したくなるような行事であり、当町内で実施等考えられるなら行政としても協力をしたいと思う。

【委員】「防犯マルシェ」は、地元駐在所が提案して始まり、協力していくうちに今のように盛大なイベントになってきている。

また、「防犯かかし」についても、田辺警察署の警察官が、以前舞鶴署で勤務していた際に制作したノウハウがあり、私たちに提案をしてきたため取組を開始した施策である。

このように、警察官が持っているノウハウ等で提案をしていただけると、地元協力者としてはとても協力がしやすいので、これからもいろいろな提案をしていただければと思う。

【委員】京田辺市は学生が多いというイメージがあり、学生対象の防犯施策を行えば、効果が大きいのではないかと考える。

【警察】多くの御意見をいただき、感謝する。

本日お話が出た社用車を活用した「ながら防犯活動」は、現実的なお話だと感じた。

生活安全課等で検討して提案等させていただき、実現出来ればと思う。

また、「防犯マルシェ」を高く評価していただき有り難い反面、広報にもっと力を入れるべきだとも感じた。

昨年の「大住防犯マルシェ」のような規模の行事は、他の地区でいきなりするのは難しいと思うが、その地区で出来る規模のものを少しずつでも出来れば良いのではないかと感じた。

外国人対策のお話では、既に当署でも地元企業と連携し、防犯や交通安全の研修等を実施している。

これまでの開催時には、地元企業の通訳に支援いただいたが、そのような通訳の確保が難しい場合には、京都府警察にも通訳が出来る者がいることから、運用が出来ないなど検討する。

4 事務連絡

次回の京都府田辺警察署協議会は、令和8年6月以降に実施予定とする。

以上

## 第4回京都府田辺警察署協議会の開催状況

